

**令和4年度琉球大学法科大学院
C日程 法学未修者コース記述式試験 問題**

**令和4年1月23日(日曜日)
10時00分～10時45分(45分)**

注意事項

試験開始の合図があるまでに、次の注意をよく読んで、間違いのないように受験してください。

- 1 試験開始後、問題文に不具合があれば直ちに申し出てください。
- 2 記述式試験用の解答用紙を用い、答案の何枚目であるかを示してください。また、答案に用いたすべての解答用紙の所定欄に、受験番号と氏名を記入してください。
- 3 黒色または青色であれば、筆記用具は問いません。ただし、鉛筆書きの場合は文字が薄くならないように十分注意してください。
- 4 試験開始後は、途中退席できません。必要があるときは、監督者に申し出てください。
- 5 試験終了後、解答用紙を回収するので、指示があるまで席を立たないでください。
- 6 その他は、すべて監督者の指示に従ってください。

【問題】 次の文章を読み、以下の設問に答えなさい。

(文章については、著作権の関係で当 Web ページには掲載しておりません。)

出典：マイケル・サンデル＝鬼澤忍（訳）『これからの「正義」の話をしよう—いまを生き延びるための哲学—』（早川書房、2010年）

問1 (45点)

便乗値上げ禁止法への反対論はどのような論拠に基づくか。下線部の「幸福に関するもの」と「自由に関するもの」がどのようなことを意味するかを考えて説明しなさい。

問2 (55点)

本文中で紹介されている議論を踏まえて、自然災害に乗じた便乗値上げを規制することについてあなたの考えを論じなさい。

以 上

【出題趣旨】

社会的問題への対応に関する論争から、それぞれの主張の論拠と向けられている批判の内容を理解し、その上で自身の見解を論理的に展開する能力を測ろうとするものである。

【採点基準】

問1 (45点) 便乗値上げ禁止法への反対論はどのような論拠に基づくか。下線部の「幸福に関するもの」と「自由に関するもの」がどのようなことを意味するかを考えて説明しなさい。

- | | |
|------------------------|--------|
| 1 下記のポイントの押さえ方 (特に前二者) | 30点 |
| 2 まとめ方 (論理性・表現) | 15点 |
| 3 裁量点 | -5~+5点 |

(ポイント)

- ・自由な市場は、人々が必要とする商品の増産を促すインセンティブを生産者に与え、商品の提供につながるので、売り手にも買い手にとってもその幸福の最大化につながる。……【幸福に関するもの】
- ・自由市場においては、自発的な買い手が自由意思で市場に参入し、自発的な売り手に出会い、需給に応じて価格が合意されるので、誰に対しても強制はなされていない。国(州)がこうした売り手と買い手が持つ取引の自由に介入しないことは、自由の尊重の在り方として正しい。……【自由に関するもの】
- ・品物の価格は、自由な市場の下、その時々売り手と買い手が取引する品物に置く価値を反映したものにすぎず、人びとがたまたま慣れている価格のレベルが道徳的に不可侵であるとか公正であるわけではない。……反対説への批判

*便乗値上げ禁止法への反対論の論拠のうち、「幸福に関するもの」、「自由に関するもの」のそれぞれが何を指すのかにつき、課題文中では明示的には述べられていないが、自由市場における需要と供給の効率的調整により社会全体の利益(幸福)が最大化するという自由市場思想の考え方や、個人の自由に対する国家の干渉は最小限(抑制的)であるべきとする自由主義の考え方を前提に課題文を読めば、推測することができると思われる。

問2 (55点) 本文中で紹介されている議論を踏まえて、自然災害に乗じた便乗値上げを規制することについてあなたの考えを論じなさい。

- | | |
|-------------|-----|
| 1 自身の論拠の説得性 | 25点 |
|-------------|-----|

2 反対の立場への配慮	15 点
3 全体的な論理性、説得性、表現力	15 点
4 裁量点	-5~+5 点